

令和6年2月18日

由利本荘プロモーション会議活動報告書

報告者：滝野祐、藤原友香、小番良明、豊島桂

チーム名	由利本荘プロモーション会議@home矢島
メンバー	滝野祐（リーダー）、藤原友香、小番良明、豊島桂

企画名	みんなでサマスクin矢小	
企画概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「こどもから大人まで楽しめる場の創出」をコンセプトに掲げ、令和5年度で校舎移転が予定されている矢島小学校を舞台とし、1日限りの体験型イベントを開催 ・イベント内容は次ページにて説明 	
開催日時	令和5年8月6日 10:00～15:00	
開催場所	由利本荘市立矢島小学校	
来場者数	42人	
実行委員の人数	4人	
ボランティアの人数	21人	
講師	<p>科学実験：秋田県立大学助教 小宮山崇夫様、同大学3年 小林溪太様、佐藤拓実様、 子吉小学校教諭 高橋寛輝様</p> <p>木工体験：岩城少年自然の家 佐々木伸様</p> <p>味噌玉づくり：真坂糰味噌店 真坂民子様</p> <p>マジック教室：ヨッシー様</p>	

イベント内容

【イベント内容】	1組	2組	内容
1時間目 10:00～10:50	今年の夏はコレできまり！！ わくわく自由研究！		秋田県立大生、岩城少年自然の家職員を講師とし、簡単な科学体験・木工ワークショップを開催。 体育館を3～4ブースほどに分け、体験授業形式とする
休み時間 10:50～11:00			
2時間目 11:00～11:50			
休み時間 11:50～12:05	休憩・移動		
昼食 12:05～12:50	ランチタイム		矢島小学校のレシピを元にして調理した給食風ランチを提供
昼休み 12:50～13:10	休憩・移動		
3時間目 13:10～14:00	家庭科 ～みそ屋が教える味噌玉づくり～	特別授業 ～今日から君もマジシャンだ！～	味噌玉づくり：真坂糺味噌店様を講師としてお呼びし、味噌玉づくり体験会を開催 マジックショー及びマジック教室：由利本荘市出身のマジシャン・ヨッシー様をお呼びし、マジックショーとマジック教室を開催
休み時間 14:00～14:10	休憩・移動		
4時間目 14:10～15:00	特別授業 ～今日から君もマジシャンだ！～	家庭科 ～みそ屋が教える味噌玉づくり～	
放課後	帰りの会		

告知方法

●ポスター
公共施設等に掲示

由利本荘プロモーション会議

2023 みんなでサマスク in 矢小

事前申込

SUMMER SCHOOL IN YASHIMA

8/6(日) 10:00~15:00

矢島小学校で、サマースクールを開催します
子どもから大人まで楽しめる特別授業や、学校といえば…の給食風ランチも用意!
一夏の思い出づくりにぜひ、ご参加ください!

こちらのイベントは事前申込制です!
※小学生以下のお子さまは、保護者の方と一緒に申し込みください。

定員	参加費	申込期限	申込方法
40人	お1人 1000円	7/17(月)	①もしくは、②の方法でお申し込みください。 申込み期限前のキャンセルは、メールへご連絡ください。 参加費は、当日現金にてお支払いいただきます。

内容 科学実験 / 木工体験 / マジックショー
味噌玉づくり / 給食風ランチの提供

場所 由利本荘市立矢島小学校

〒015-0411
由利本荘市矢島町城内字八森6番地
矢島駅からのアクセス … 車3分/徒歩10分

お問合せ先 athomeyashima@gmail.com

主催 由利本荘プロモーション会議 @home矢島(あっとほーむやしま)

共催 由利本荘市

SNSも積極的に
ぜひチェックして
みてください!

Instagram Twitter

●Instagram
市内外へ情報発信

yashima_summerschool

16 件の投稿 126 人のフォロワー 187 人をフォロー中

みんなでサマスク in 矢小
由利本荘プロモーション会議 @home 矢島 (あっとほーむやしま)
2023.8.6 無事に終了!
https://twitter.com/yashima_sumsch

フォロー中 ▼ メッセージ

前日準備の... お知らせ!... post!

Home Search Add Post Profile

収支決算（収入）

収入	予算額	決算額	備考
補助金	540,000	383,855	
その他収入	100,000	42,000	参加費1,000円×42人
合計	640,000	425,865	

収支決算（支出）

単位：円

支 出	予算額	決算額	備考
謝礼	150,000	222,790	講師を担当された方々へ
出店費用	100,000	0	
委託料	150,000	0	
借上料	10,000	0	
スタンプラリー景品代	30,000	0	
郵便料	5,000	1,810	フライヤー郵送、FAX、封筒、参加者への郵送代
広告費	15,000	19,650	ポスター、フライヤー、横断幕
保険料	13,000	1,548	イベント賠償責任共済
事務費	24,000	0	
材料費	143,000	0	
消耗品費	0	119,374	科学実験、味噌玉づくり、給食消耗品、木工体験、マジックショー
講習費	0	16,000	食料衛生責任者養成講習会参、収入印紙
食料費	0	8,994	熱中症対策
振込手数料	0	1,540	謝礼振込
給食費	0	33,979	給食食材（補助対象外）
合計	640,000	425,865	

イベント当日の様子

今年の夏はコレできまり！！
わくわく自由研究！



イベント当日の様子 ランチタイム



イベント当日の様子

家庭科
～みそ屋が教える味噌玉づくり～



特別授業
～今日から君もマジシャンだ！～



集合写真



事業の実施により、どのような効果が得られたか

- メンバーは皆イベント企画初心者だったが、企画→準備→開催の一連の段階を経験したことによってメンバーそれぞれがイベント企画のノウハウを得られた
- メンバー各々の外部との交渉力向上、自発的に行動する力が向上した。
- 今回42人の参加者がきて、「楽しかった」「様々な体験ができて充実していた」という旨の声が数多く寄せられた。このことから大規模でなくとも、大人もこどもも一緒になって参加できるイベントの需要があることがわかった。

▼以下参加者からの声（アンケートより抜粋）▼

- とても楽しかったです。子供だけを対象にしているわけでもなく、でも難しい内容でもなく、給食もマジックも味噌玉の企画もとても良かったと思います。ありがとうございました。
- 想像以上にとんでもなく暑かったけど、スタッフ皆さんのたくさんのご配慮によって1日無事に過ごせたなと思います。楽しいイベント、ありがとうございました。
- 当日は暑い中、たくさんの方が携わって楽しませてくれ、とても気持ちよく心地よかったです。矢島小学校に通う我が子も、いつもと違う雰囲気为学校にワクワクしていて、とてもいい思い出になりました。ありがとうございました！
- みそ玉作り体験は、みそを丸めるのが粘土遊びのようだったのか、子供たちはとても楽しめていました。家に帰ってからも、自分で作ったみそ玉を美味しい美味しいと言って、毎日食べてくれたので、とてもよい体験ができたなと思いました。
- 普段中々できない「子供と一緒に料理」を教えてもらう、という同じ立場で出来たみそ玉作りがすごくよかったです。

課題とその解決方法

◆ 課題 1

□ 会場の確保

- ✓ 来年度以降、八森校舎の状態がどうなるか不明のため今回同様の形でイベントを継続できない可能性が高い

◆ 課題 1 の解決方法

□ イベントの方向性の再検討

- ✓ 「こどもから大人まで楽しめる場の創出」というコンセプトを大切にしつつ、場所に依存しないイベントを検討する

◆ 課題 2

□ メンバーひとりひとりの負担が大きい

- ✓ 最終的に稼働できるメンバーが4人程度で、メンバー一人あたりの負担が大きくなり、日常生活に支障をきたした

◆ 課題 2 の解決方法

□ メンバー数に見合った企画の考案

□ 早めのボランティア募集及び確保

プロモーション会議を通じて得た経験

(滝野)

- ・ たくさんの人を巻き込んだ企画を運営していくことの難しさ
- ・ 関係各課との調整を重ね、ひとつの企画を実行に移す経験
- ・ イベントが成功したあとの達成感
- ・ 由利本荘市に活気をもたらしたいという気持ちを持った人々との交流とその人たちとのつながり

プロモーション会議を通じて得た経験

(藤原)

イベントを企画すること自体、初めてでしたが、どうしたら地域活性化に繋がるか、皆さんに楽しんでもらえるには何をしたら良いのかと、色々と企画を考えている時が1番楽しかったです。

いざ、考えた企画を実行に移す時はとても大変でしたが、何も分からない私にたくさんのアドバイスをくれたり協力して下さったのは矢島の皆さんでした。他市から来た私にとってはあまり地域の方と触れ合う習慣がなかったので、イベントを通して矢島のコミュニティ力の凄さを感じました。

矢島は人口が減って行く一方ですが、そのコミュニティ力があれば、まだまだ出来ることは沢山あると思いました。プロモを通して、自分には何が出来るか、色々と考えると、また次の楽しみが増えました。

プロモーション会議を通じて得た経験

(小番)

今回初めてプロモーション会議と言う企画、イベントをするにあたってプロモーション会議の中で町の活性化をどうするか、どうしたら矢島を発信するか、色々な事が考えされたりもしました。そうした中で今回矢島小学校の閉鎖に伴ってイベントを企画しやった訳ですが、本当に役場の担当の畑澤さん、秋山さん、佐藤さん等初めとする地域の方々のサポートや今のメンバーで今回のイベントは成功したと思います。

これからは個人的に思うのが、今回のイベントで満足せず、矢島町の良さをより一層発信して行けたら良いなあと思います。

プロモーション会議を通じて得た経験

(豊島)

「地域活性化」という言葉を形にするのはとても難しいが、普段得られない貴重な経験ができた。

イベントを通じて地元の魅力・課題を知り、地元への意識が変化した。
メンバー/地域の方々/手伝ってくれた方々/参加者など、多くのご協力があったからこそ成し遂げられたのだと思う。

感謝の気持ちを大事に、先を見据えて自分ができることを模索したい。